

☆この冬一番の寒気が佐渡を直撃☆

1月23日から、佐渡としては十数年に一度の強い寒気が断続的に流れ込み、最高気温ですら氷点下となる日が続きました。また、平年であれば2、3日で溶けてしまうくらいの雪しか積もりませんが、本年は寒気による影響で、平野部ですら膝の高さまで積もるほどの大雪となりました。冷え込みが厳しかったことで水道管の凍結・破裂による漏水が至るところで発生し、1月29日からは佐渡市内の半分近くの約1万700世帯で断水となりました。自衛隊や自治体、様々な企業の支援もあり、一人暮らし世帯への給水活動が行われ、2月上旬には大半の世帯で復旧するまでとなりました。



様々な企業からの支援が佐渡市長に手渡されました。
佐渡市 三浦市長 (左)

☆冬季座談会が開催されました☆

1月15日から2月8日までの25日間、島内各集落では冬季座談会が行われました。座談会ではJA役職員が30年度の経営方針や取り組みについて説明を行った後、集落の方々との懇談を行いました。「佐渡米やおけさ柿に次ぐ、新たな農産物の生産指導を農協にお願いしたい」といった意見が出されるなど、地域農業の維持・発展の為に熱心な議論がなされました。



JA 佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」
で佐渡の情報が見られます。

<https://www.facebook.com/jasadotanbo>

※QRコードについてはこちら➡



JA 佐渡 HP やフェイスブック・ツイッター・g+でも佐渡の情報が見られます

♡恋の季節到来♡

繁殖時期を迎えており、トキは今、頭から首にかけての羽の色が灰色に変わりました。この時期はペアでの行動となり、あちこちの田んぼを仲良くエサを探す姿を見かけられます。ペアになったトキは相手に枝などを渡す「枝渡し」やお互いのくちばしを合わせる「くちばし交差」などの繁殖期特有の姿も見られます。昨年は36組のペアから92羽のヒナが生まれました。今年は昨年を上回るヒナの誕生が期待されています。



編集人；佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 山田・藤巻

beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成30年2月